

「災害時に子どもたちが果たした役割の記録 ～2018年西日本豪雨の経験から～」
 体験談投稿のお願い

災害時、避難所などで、子どもたちが果たした役割がありました。小さな子どものお世話をしたり、水や食料など重いものを率先して持ったり、自ら考えて動く子どもたちの姿に、大人はたくさんの勇気をもらいました。そこで、それらのことが忘れられてしまわないように、子どもたちの活動を見た、あるいは助けられたエピソードを教えてください。子どもたちからの投稿とあわせて、冊子にまとめたり、インターネットで伝えたりして、多くの人に知ってもらいたいと思っています。 (投稿用紙は裏面です。)

【募集期間】2019年6月10日(月)～2019年9月10日(火)

【応募方法】

- ①郵送：投稿用紙に記入して下記宛先に送付
- ②ファックス：投稿用紙に記入して03-6859-0069へ(この用紙の表・裏両面とも)
- ③ホームページ(応募フォーム)：

<http://www.savechildren.or.jp/lp/kiroku> (または、QRコードより)

(小学生、中高生世代の方も、ホームページから応募できます。)

※投稿用紙は、手書きのまま冊子に掲載させていただく場合があります。



【郵送の場合の宛先・お問い合わせ先】

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-8-4 山田ビル4階

公益社団法人 セーブ・ザ・チルドレン・ジャパン 国内事業部

メール：japan.hagukumi@savethechildren.org 電話：03-6859-6869 (平日9:00～18:00)



～ セーブ・ザ・チルドレンについて ～

セーブ・ザ・チルドレンは、すべての子どもたちにとって、生きる・育つ・守られる・参加する「子どもの権利」が実現されている世界を目指し、世界約120ヶ国で活動する子ども支援専門の国際NGOです。2018年7月の西日本豪雨発生後は、岡山県倉敷市を中心に緊急・復興支援活動を行い、6,500人以上に支援を届けました。避難所で子どもが安心・安全に過ごすことのできる「こどもひろば」の活動や、学用品の配布、学童・児童館・保育園への備品支援、給付金の提供などを行いました。

■より詳しくお話を聞かせていただける方、できあがった冊子の郵送を希望する方は、下記口に✓をして、連絡先をご記入ください。※冊子やインターネットに名前・連絡先等を掲載することはありません。

<input type="checkbox"/> 詳しくお話を聞かせていただける。 (全員の方とは限りませんが、セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンよりご連絡します。)		<input type="checkbox"/> 冊子の郵送を希望する。 (発送は2020年3月頃予定です。)	
電話番号		メールアドレス	
住所		都・道	
〒		府・県	
お名前(ふりがな)			

※セーブ・ザ・チルドレン・ジャパンでは、業務上取り扱う全ての個人情報は、個人情報保護法その他の法令並びに当団体の個人情報保護方針などに則り適正に管理します。お預かりする個人情報は、インタビューの際のご連絡と冊子の郵送の目的のみに使用します。

大人用

「災害時に子どもたちが果たした役割の記録 ～2018年西日本豪雨の経験から～」 投稿用紙

タイトル(あなたが見た、助けられた活動にタイトルをつけるとすると。)		当時の住所 岡山県 ・ 広島県 ・ 愛媛県 都 道 その他： _____ 府 県	年齢 20代 ・ 30代 40代 ・ 50代 60代 ・ 70代以上
いつ頃 ※「〇月頃」など	どこで ※〇〇県 〇〇市・町 ※「避難所」 など	だれが ※人数、年齢など(個人名は不要です。)	
<p>①どんな活動を見ましたか？どんな活動に助けられましたか？</p> <p>②子どもたちのその姿に触れてどう思いましたか？(あなたや周りの大人に与えた影響など。)</p> <p>③子どもたちへの期待やメッセージを書いてください。</p>			

※書ききれない場合は、別紙に書いてください。